

Partial English Translation of  
Japanese utility model examined publication No. 8-4726

[TITLE OF THE UTILITY MODEL] HANDY DEVICE FOR PREVENTING ANTENNA  
FROM BEING MISSED

[CLAIM]

1. A handy device for preventing an antenna from being missed, comprising:  
an antenna having a hand strap through-hole which a hand strap is run  
through and which is formed to protrude from a lateral side; and

a device main body separable from the antenna by contact plugs, including  
hand strap fixing means for fixing the hand strap, the device main body being a  
handy electric or electronic device main body, and operable by the antenna,

wherein the hand strap having an annular endless shape, fixed to the hand  
strap fixing means, and having a tip end circular portion formed by a part excluding a  
region fixed to the hand strap fixing means and run through the hand strap  
through-hole, and

wherein the hand strap is provided so that the tip end circular portion that is  
run through the hand strap through-hole to extend is wound around the antenna to  
bind the antenna tightly.

[FUNCTIONS AND IMPLEMENTAL EXAMPLE]

Functions and an implemental example of a handy device for preventing an  
antenna from being missed, according to the present utility model will be described in  
detail. Needless to say, a shape, a diameter, a thickness, a material, a type of  
applicable electric or electronic equipment and the like are not limited to those in the  
present implemental example.

An antenna-side contact plug (2) and a main body-side contact plug (3) of a  
handy transceiver shown in Fig. 1 are connected to each other, thereby attaching an  
antenna (1) to a main body (4). Further, a fiber endless hand strap (5) shown in Fig.  
1, pleasant to touch, and having a diameter of 5 to 10 centimeters and a thickness of  
about 5 millimeters is fixed to the handy transceiver main body (4).

Figs. 2(A), 2(B), and 2(C) show a method of attaching the hand strap (5) to the antenna (1). First, as shown in Fig. 1(A), a circle at an opposite end of the hand strap (5) to an end thereof fixed to the main body side is run through a hand strap through-hole (6), and the hand strap (5) is pulled out from the hand strap through-hole (6) by a length enough for the circle of the hand strap to pass through a tip end of the antenna (1).

Thereafter, as shown in Fig. 1(B), a portion of the circle pulled out from the hand strap through-hole (6), i.e., a tip end open annular portion (5') is caused to pass through the tip end of the antenna (1) from above to be wound around the antenna (1).

As shown in Fig. 1(C), the hand strap (5) wound around the antenna (1) by the above-stated method is pulled from a main body (4)-side. By doing so, the hand strap (5) is tightly fixed to the antenna (1), and the antenna (1) is connected to the handy transceiver main body (4) by the hand strap (5) without loosening in a tight bound state.

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 実用新案公報 (Y 2)

(11)実用新案出願公告番号

実公平8-4726

(24) (44)公告日 平成8年(1996)2月7日

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>

H 0 1 Q 1/24

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

Z

請求項の数1(全 3 頁)

(21)出願番号 実願平1-57081

(22)出願日 平成1年(1989)5月19日

(65)公開番号 実開平2-147912

(43)公開日 平成2年(1990)12月17日

(71)出願人 999999999

日本マランツ株式会社

神奈川県相模原市相模大野7丁目35番1号

(72)考案者 野上 友久

神奈川県相模原市相模大野7-35-1 日

本マランツ株式会社内

(72)考案者 岩倉 広孝

神奈川県相模原市相模大野7-35-1 日

本マランツ株式会社内

審査官 鈴木 康仁

(54)【考案の名称】 アンテナ紛失防止ハンディ機器

1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 ハンドストラップを通すためのハンドストラップ通し孔が、側部から突出の状態で設けられているアンテナと、そのアンテナと接栓によって分離可能であって、且つ、ハンドストラップを固定するためのハンドストラップ固定の手段が設けられ、更に、そのアンテナにより機能するハンディ型電気・電子等機器の本体である機器本体と、環状のエンドレス形状であって、ハンドストラップ固定の手段に固定され、且つ、そのハンドストラップ固定の手段に固定される部位を除いた部分で作られる先端輪状部がハンドストラップ通し孔に通され、更に、そのハンドストラップ通し孔を通して伸びる先端輪状部がアンテナの周囲を巡らし巻きつけて緊縛するように配設されるハンドストラップが備えられてなる、アンテナ紛失防止式ハンディ機器。

2

【考案の詳細な説明】

〔産業上の利用分野〕

本考案はハンドストラップにより分離型アンテナを機器本体と連結するアンテナ紛失防止式ハンディ機器に関する。

〔従来の技術〕

アンテナにより機能するトランシーバ等のハンディ型電気・電子等機器においては、アンテナが機器本体に固定されて分離不可能か、接栓等により分離可能な構造であっても、バッグ等への収納時に機器本体とアンテナがバラバラとなり、アンテナが小型の場合には取り出しが不自由であり、また紛失の恐れがあった。

〔考案が解決しようとする問題点〕

上記分離不可能型アンテナは電気・電子等機器が崇高となりバッグ等への収納時に無理があり、またアンテナ

に不必要な力が加わって折損、破損の原因となる。

上記問題点の解決策として、接栓によりアンテナを分離する型式とするものはアンテナが小型なため、バッグ等からの取り出し時に捜す等の手間があるほかアンテナ紛失の恐れがある。

〔問題点を解決するための手段〕

この考案は、機器本体から伸びるハンドストラップの先端輪状部をアンテナのハンドストラップ通し孔に通してから、アンテナの周囲を巡らし巻きつけて緊縛するように構成したアンテナ紛失防止式ハンディ機器である。

その詳細な構成は、ハンドストラップを通すためのハンドストラップ通し孔が、側部から突出の状態で設けられているアンテナと、そのアンテナと接栓によって分離可能であって、且つ、ハンドストラップを固定するためのハンドストラップ固定の手段が設けられ、更に、そのアンテナにより機能するハンディ型電気・電子等機器の本体である機器本体と、環状のエンドレス形状であって、ハンドストラップ固定の手段に固定され、且つ、そのハンドストラップ固定の手段に固定される部位を除いた部分で作られる先端輪状部がハンドストラップ通し孔に通され、更に、そのハンドストラップ通し孔を通して伸びる先端輪状部がアンテナの周囲を巡らし巻きつけて緊縛するように配設されるハンドストラップが備えられてなる、アンテナ紛失防止式ハンディ機器である。

即ち、柔軟なハンドストラップによりアンテナと機器本体を連結することにより、収納形状の自由度を損なうことなく、最小の占有空間でバッグ等に収納が可能となるとともに、バッグ等からの取り出しが容易となり、大きな機器本体と連結されているので紛失の蓋然性も低く抑えることができる。

また、アンテナを含むハンディ型電気・電子等機器をバッグ等に収納せずに移動する場合に手をハンドストラップの輪に通して手軽に携帯・所持できるとともに機器の落下・損傷を防ぎ、不使用時にハンドストラップを釘等に掛けて係止することが出来る等、ハンディ型電気・電子等機器使用能率を高めることができる。

〔作用および実施例〕

以下に本考案のアンテナ粉末防止式ハンディ機器の作用および実施例について詳述するが、ハンドストラップの形状、直径、太さ、材料、適用電気・電子等機器の種類等は本実施例に限定されないのは当然のことである。

第1図に示すハンディ型トランシーバーのアンテナ側接栓(2)と本体側接栓(3)とを接合することによりアンテナ(1)を本体(4)に取り付け、第1図(5)

に示す直径5~10cm、太さ5mm程度の手触りの良い繊維製のエンドレスハンドストラップ(5)をハンディ型トランシーバー本体(4)に固定する。

第2図(A、B、C)はハンドストラップ(5)をアンテナ(1)に装着する方法を示したもので、先ず

(A)に示す如くハンドストラップ(5)の本体側に固定した逆側他端の輪をハンドストラップ通し孔(6)を通して、当該ハンドストラップの輪がアンテナ(1)の先端を潜るのに十分な長さだけハンドストラップ通し孔(6)から引き出す。

しかるのちに、上記ハンドストラップ通し孔(6)から引き出した輪の部分、即ち先端開放輪状部(5')を(B)に示す如くアンテナ(1)の先端上方から潜らせてアンテナ(1)に巻きつける。

上述の方法でアンテナ(1)に巻きつけたハンドストラップ(5)を(C)に示す如く本体(4)側部分から引っ張ることによりハンドストラップ(5)がアンテナ(1)に密着して固定され、アンテナ(1)とハンディ型トランシーバー本体(4)が緩みなくハンドストラップ(5)により結び付けられ緊縛状態で連結される。

〔考案の効果〕

本考案におけるアンテナ粉末防止手段をハンディ型電気・電子等機器に適用してアンテナと機器本体を連結することにより、収納形状の自由度を損なうことなく、最小の占有空間でバッグ等に収納が可能となるとともに、バッグ等からの取り出しが容易となり、また、大きな機器本体と連結されているので紛失の恐れが無くなるとともに、ハンディ型電気・電子等機器をバッグ等に収納せずに移動する場合に手をハンドストラップの輪に通して手軽に携帯・所持でき、また、不使用時にハンドストラップを釘等に掛けて係止することができる等、ハンディ型電気・電子等機器使用能率を高めることができる。

【図面の簡単な説明】

第1図は本考案のアンテナ紛失防止式ハンディ機器のハンディ型トランシーバからアンテナを取り外した状態の正面図を示し、第2図(A、B、C)は、順次ハンドストラップをアンテナに装着する手順を示す。

(1) アンテナ

(2) アンテナ側接栓

(3) 機器本体側接栓

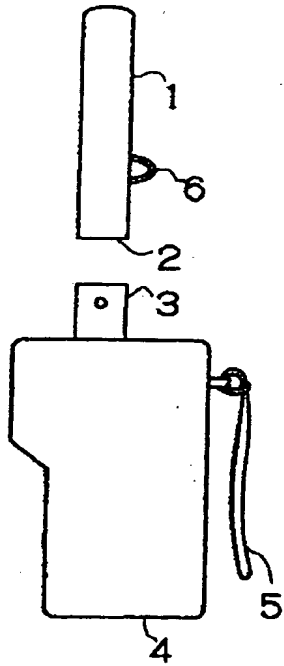
(4) ハンディ型電気・電子等機器本体

(5) ハンドストラップ

(5') ハンドストラップ先端開放輪状部

(6) ハンドストラップ通し孔

【第1図】



【第2図】

